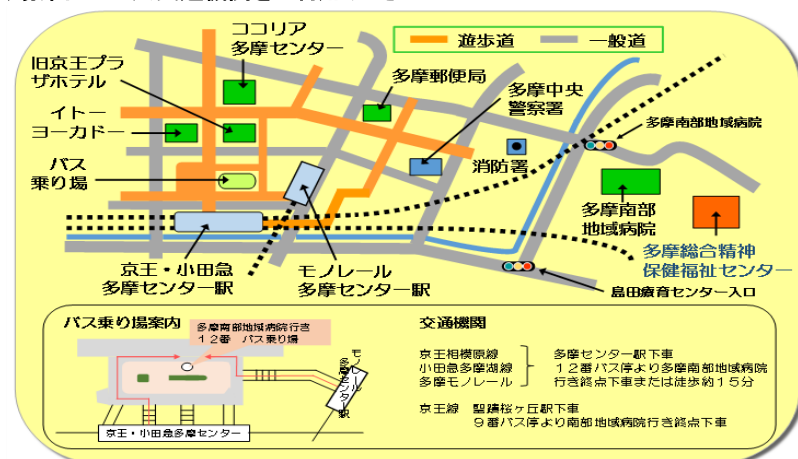


テーマ	(多摩9)多問題家族支援研修 生活史の聞き取り方と関係機関の協働・連携
日時	令和8年8月5日(水曜日) 午後1時25分から午後4時45分
対象	・都内(主に多摩地域)の精神保健福祉活動に従事する行政機関、相談機関、医療機関、教育機関、障害福祉サービス事業所、その他関係機関職員。 ※研修の受講可否については研修2週間前までに送付するご案内をご確認ください。 ※「研修当日のご案内」「資料」を研修1週間前ごろ送付します。詳細をご確認ください。 ※Zoom参加の場合は、Zoom視聴に必要な環境(パソコン、タブレット等の端末で画面を見ることができ、音声を聞くことができるインターネット環境)が必要です。 ※会場受講希望者が多数の場合は抽選となります。
定員・会場	ハイブリッド定員200名 内会場受講25名 会場:多摩総合精神保健福祉センター研修室

プログラム

開催時間	講義名・講師	内容
午後1時10分から		Zoom入室開始。会場受講:多摩総合精神保健福祉センター研修室入室開始。
午後1時25分から		研修案内
午後1時30分から 午後4時30分まで (予定)	生活史の聞き取り方と 関係機関の協働・連携 東洋大学 福祉社会デザイン学部社会福祉学科 教授 吉浦 輪 氏	家族背景に様々な課題を持ち、精神保健の課題を含め、複数の深刻な問題を複合的に抱え悪循環に陥っている家族。家族機能が不全に陥り、社会的孤立や事件につながるケースもあり、多角的な支援が必要です。 「わからない状況」を聴くことで、支援が180度変わる可能性もあります。支援・介入する際に知っておきたい「生活史の聞き取り方」をメインに、事例を通して具体的に学びます。ハームリダクション(最大危機の回避)の視点、行政の担当部署間や関係機関との多職種・横断的な支援、「家族支援」としてのシステムや協働・連携の必要性について学びます。
午後4時30分から	事務連絡、アンケート記入等	午後4時45分終了予定

<会場案内> 公共交通機関をご利用ください



- 鉄道 京王相模原線
小田急多摩線
多摩センター駅下車
徒歩15分
- 多摩都市モノレール
多摩センター駅下車
徒歩13分
- バス
多摩南部地域病院行き
聖蹟桜ヶ丘駅⑨番のりば
(所要時間約25分)
多摩センター駅⑫番のりば
(所要時間約5分)
※バスは1時間に
5~6本あります。
終点下車徒歩1分

駐車場は使用できません(止むを得ない場合は事前に研修担当にご連絡ください)

【問合せ先】 東京都立多摩総合精神保健福祉センター 広報援助課 研修担当 電話 042-376-6580